



PRIMERGY BX400 S1

はじめにお読みください



使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記ソフトウェアの使用条件に同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用に同意された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約を優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. **本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または関係先で第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限られるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許していない限り、予備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前項によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア(本サーバ)に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用(バックアップ)媒体を含みます)を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本サーバに添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバ(をご購入いただいた日から90 日以内)に限り、お申し出いただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)等がある場合、本サーバ(をご購入いただいた日から1ヶ月以内)に限り、不良品と良品との交換に同意するものとします。
(2) 弊社は、前項に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能が生じるいかなる損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害)を含みませんが、これに限定されないものとします。同時に、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が発売したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が発売したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開示元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、実業用など一般的な用途を想定したものであり、ハイセイティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイティ用途に要する安全性を確保する措置を講ずることなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記
原子力規制部、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

作業を始める前に

□ 最新情報について

マニュアルの最新情報は以下のURLをご覧ください。また、留意事項などが記載されている場合、あわせてご確認ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html>

□ 設計構築に必要な情報について

サーバの導入/システム構築などの設計構築に必要な情報については、「PRIMERGY」ページの「技術情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>)をご覧ください。

□ 用語について

マニュアルで使用されている用語「システムユニット」は、「シャーン」を意味します。

□ 梱包物を確認する

「梱包物一覧」をご覧ください。梱包物がすべてそろっているか確認してください。カスタマイドサービスを利用してご購入された場合は、添付の「保証書」(「構成品一覧」が添付されている場合は「構成品一覧」)をご確認ください。

□ 「安全上の注意およびその他の重要情報」を確認する

添付の「安全上の注意およびその他の重要情報」には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

□ サポート&サービス

PRIMERGYに関する最新の情報や、製品・サービスに関するお問い合わせ、修理などにつきましては、添付の「サポート&サービス」をご覧ください。

コンポーネントの取り外し(1)

▲ 注意

システムユニットをラックに取り付ける前に、サーバブレード、ストレージブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニット、ダミーモジュールをすべて取り外して、システムユニットを軽くしてください。
システムユニットが正しく取り付けられていないと、重大なエラーが発生することがあります。

● サーバブレード/ストレージブレードの取り外し

システムユニットの各サーバブレードの搭載場所をメモしておきます。



(写真は、BX920 S2サーバブレードの例です。)

1. リリースラッチを押し上げて、ロックを外します。
2. リリースレバーを水平まで開きます。
3. サーバブレードを取り外します。

■ ストレージブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

● ダミーサーバブレード/ダミーストレージブレードの取り外し



1. リリースレバーを上げます。
2. ハンドルを使用して、スロットからダミーモジュールを取り外します。

● 電源ユニット/ファンユニットの取り外し



■ ファンユニットを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

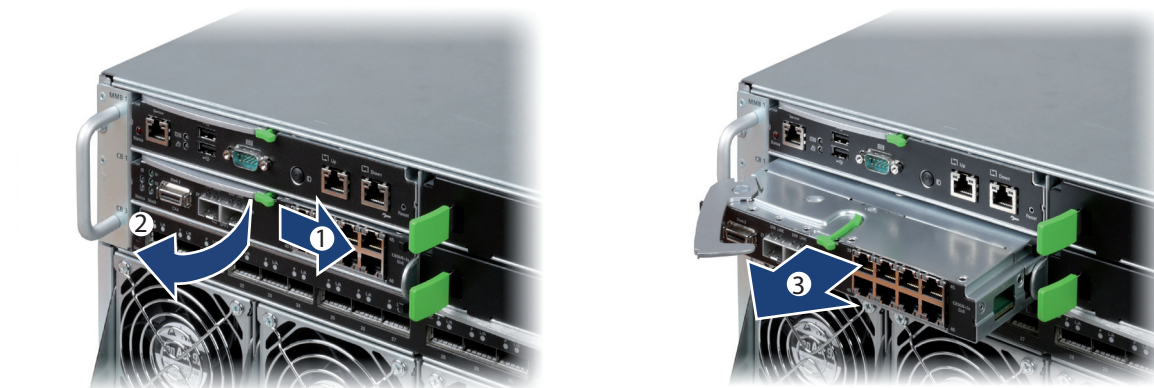
コンポーネントの取り外し(2)

▲ 注意

システムユニットをラックに取り付ける前に、サーバブレード、ストレージブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニット、ダミーモジュールをすべて取り外して、システムユニットを軽くしてください。

● コネクションブレード/マネジメントブレードの取り外し

システムユニットの各サーバブレードの搭載場所をメモしておきます。



1. リリースラッチを右にスライドさせて、リリースレバーを開放します。
2. リリースレバーをいっぱいまで開きます。
3. コネクションブレードを取り外します。

■ マネジメントブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

● ダミーコネクションブレード/ダミーマネジメントブレードの取り外し

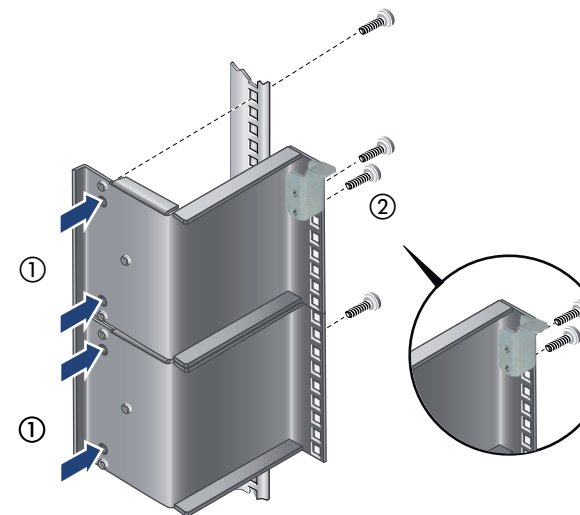


1. ダミーモジュールのつまみを内側に押します。
2. ダミーモジュールを取り外します。

ラックへの搭載

日本製品では、サポートブラケットは使用しませんので、ラックレールは直接、左右の支柱に固定してください。また、押さえクランプは、背面の支柱に取り付けてください。

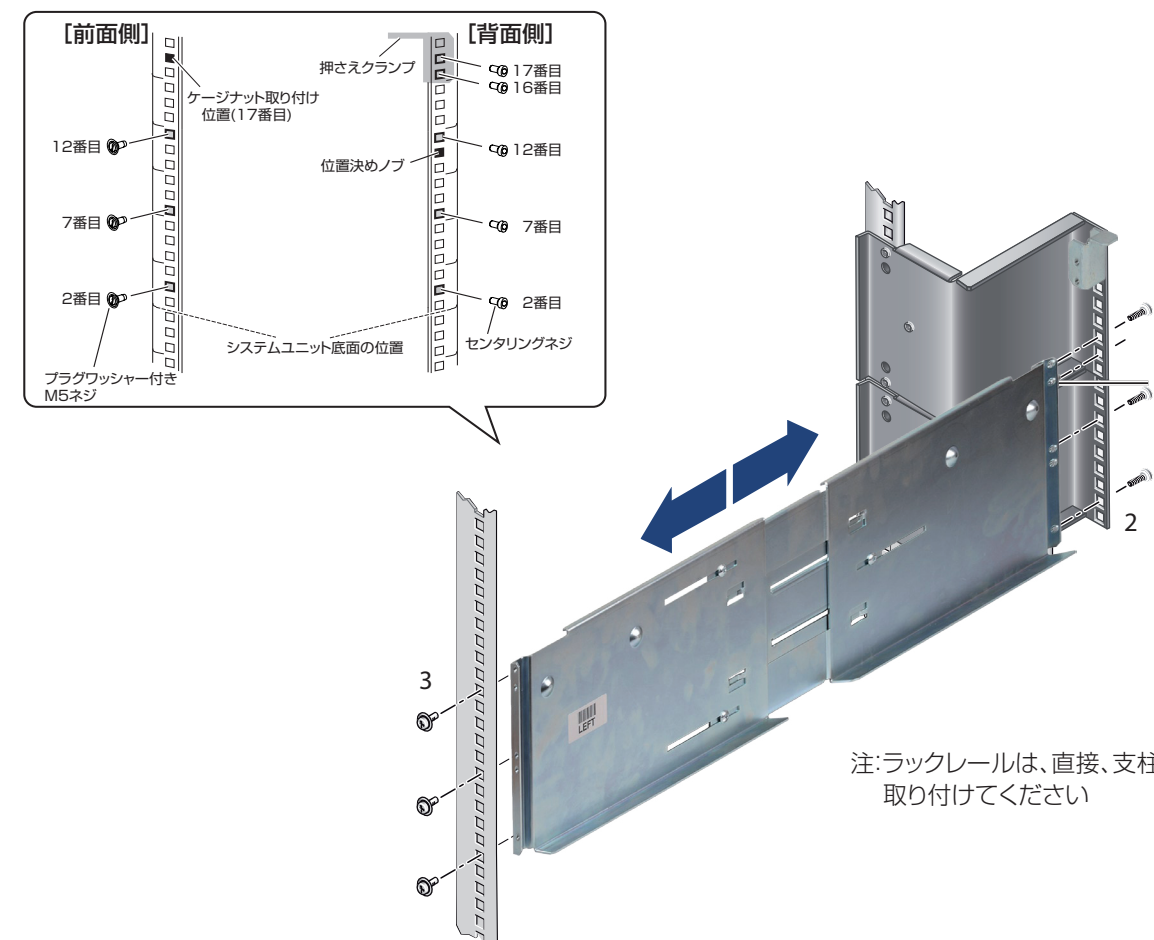
● サポートブラケットの取り付け



注: 押さえクランプの取り付け位置は下図を参照してください。

1. サポートブラケットを、背面左側のラック支柱の該当する高さに取り付けます(対応する穴にノブを挿入)。
2. 4本のセンタリングネジを使用して固定します(1)。
3. 2本のセンタリングネジを使用して、押さえクランプをサポートブラケットの上端に固定します(2)。
4. 2本のセンタリングネジを使用して、2つ目の押さえクランプを、最初の押さえクランプと同じ高さで、背面左側のラック支柱に取り付けます。

● ラックレールの取り付け



注: ラックレールは、直接、支柱に取り付けてください

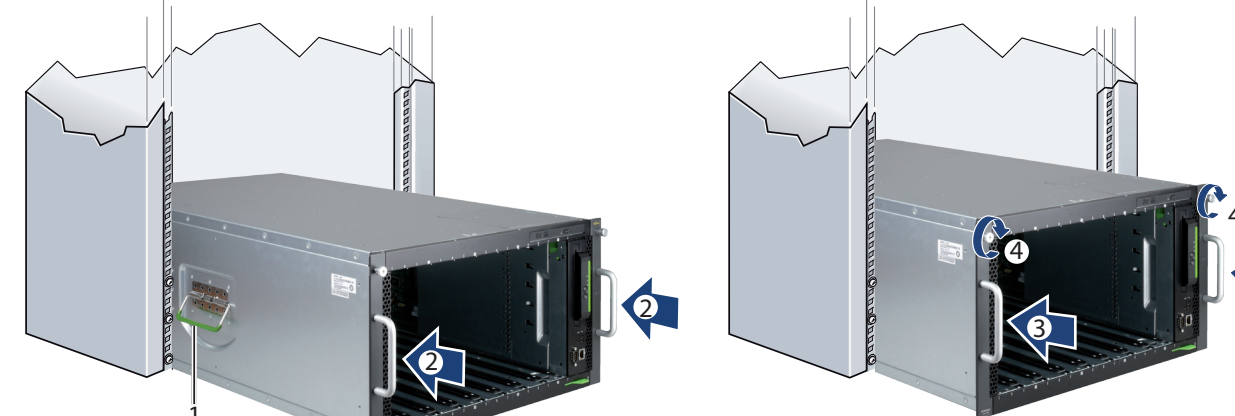
1. ラックレールをサポートブラケットにノブを挿入し、固定します(1)。
2. 3本のセンタリングネジを使用して、ラックレールをサポートブラケットの下端に固定します(2)。
3. ラックレールを左前面のラック支柱に固定します。
4. 3本のプラグワッシャー付きM5ネジを使用して、ラックレールを前面のラック支柱(3)に固定します。
5. 右側のラックレールにも同様の作業を行います。

ラックの搭載

システムユニットのラックへの搭載についての一般情報は、各ラックのマニュアルに記載されています。

▲ 注意

必ずシステムユニットの長い方の側面にあるハンドルを持って、システムユニットを移動させてください。コンポーネント(サーバブレード、ストレージブレード、コネクションブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニット)を取り外しても、質量は約33kgあります。システムユニットの質量/サイズを考慮して安全上、搭載や取り外しは2名以上で行ってください。



1. 左右のラック支柱の、システムユニットの底面位置から17番目の留め具に、システムユニットを固定するケーシナットを取り付けます。
2. システムユニットの背面部をラックの取り付けレールの上に乗せます。
3. 側面のキャリーハンドルを折りたたみます(1)。
4. システムユニットをラックに押し込みます(2)。
5. システムユニットを最後までラックに押し込みます(3)。
6. 2本のネジを使用して、システムユニットをラックに固定します(4)。
7. サーバブレード、ストレージブレード、コネクションブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニットを元のベイに再び取り付けます。

▲ 注意

システムユニットが正しく取り付けられていないと、重大なエラーが発生することがあります。

電源ケーブルの接続

システムユニットには、ホットスワップ対応の電源ユニットベイが6つ装備されています。電源ユニットは、標準で3台取り付けられています。

電源ユニットの電圧は、100V~240Vの範囲で自動的に設定されます。いずれかの位相でエラーが発生した場合でもシステムユニットを継続して利用可能な状態にしておくために、電源ユニットは異なる位相に接続するようにしてください。

● メイン電源の接続

1. 電源ケーブルを、システムユニット背面の電源コネクタに接続します。
2. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
次のオプションを利用できます。
 - ・電源ケーブル (AC200V対応、NEMA L6-15)
 - ・電源ケーブル (AC200V対応、IEC 60320-C20)
 - ・電源ケーブル (AC100V対応、NEMA 5-15)



電源ケーブルを通す。

● リリースタイの使い方

リリースタイで電源ケーブルを固定することで、ケーブル類が誤って引っ張られることを防ぎます。

1. 電源ケーブルをリリースタイに通します。
2. リリースタイをしっかりと引いて電源ケーブルを固定します。

リリースタイのストッパー位置で反対側に引っ張ると、リリースタイを外すことができます。

● ケーブルのフォーミング

システムユニット背面のケーブル類を束ねて1箇所に固定しておくことで、ケーブル類が掛け落ちることを防ぎます。また、煩雑になりやすいシステムユニットの背面をすっきり整理できます。

1. リリースタイ(システムユニットに添付)を使用して、各種ケーブル類をまとめます。
ケーブルをコネクタから余裕を持たせてください。
2. リリースタイをケーブルホルダー(ラックに添付)に固定します。

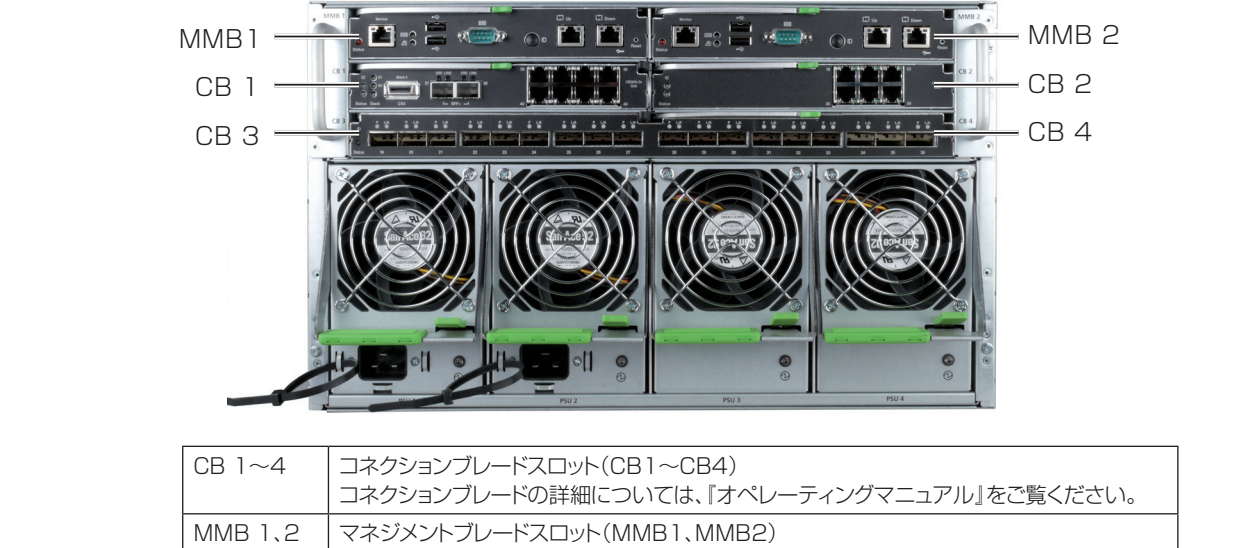


外部装置用のコネクタ

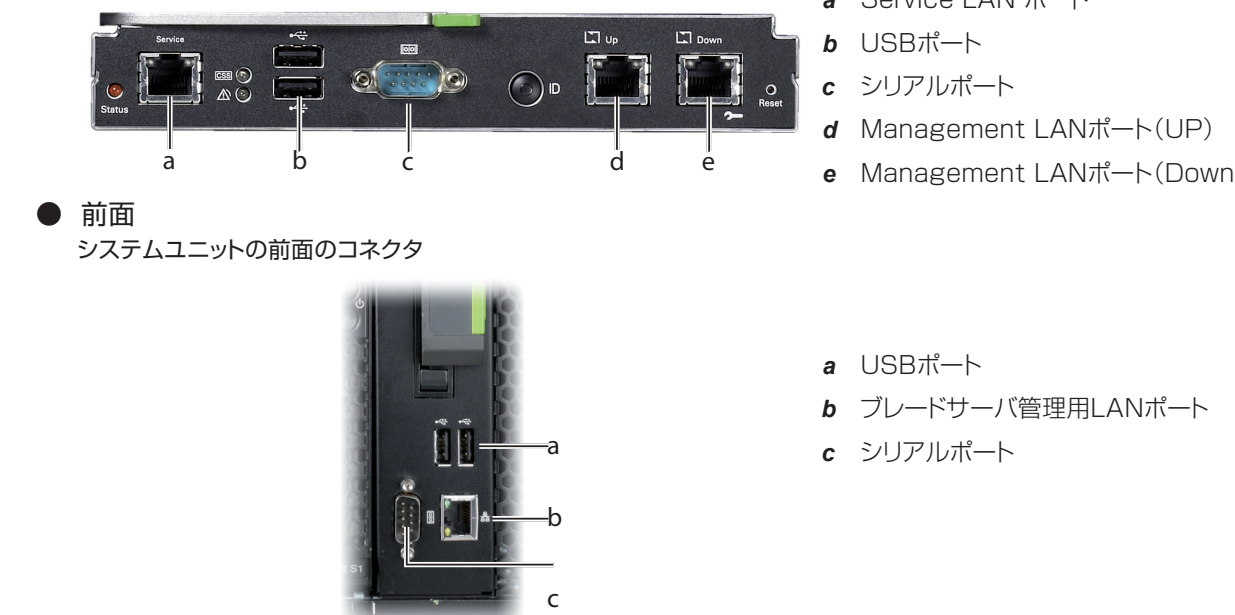
外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア(例: ドライバなど)が必要になります。詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。

● 背面



● 前面



各部名称とランプ

本システムユニットの前面には、LCDパネルが格納されています。

次の場合に使用します。

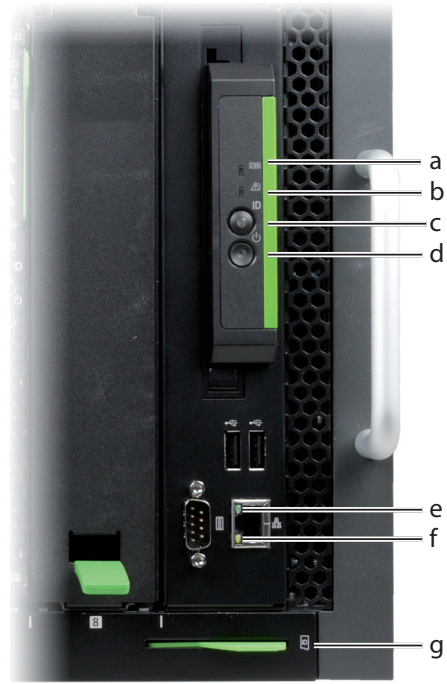
- 基本設定ウィザードを使用したマネジメントブレードの初期設定。
詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。
- ブレードサーバのローカルでの診断および管理。

最も重要なコントロールと表示の部分は LCD パネルの前面にあります。そのため、LCD パネルが格納された状態でも利用できます。

i サーバブレードとストレージブレードの各部名称などの説明については、関連する「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

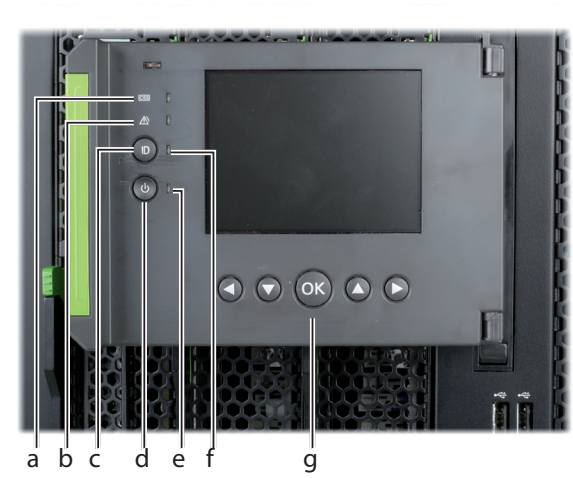
● 前面

LCD パネル (格納された状態)



- a** CSS ランプ
- b** 保守ランプ
- c** システム識別灯ボタン/システム識別灯
- d** メイン電源スイッチ/メイン電源ランプ
- e** LAN 転送速度表示ランプ (Management LAN)
- f** LAN アクセス表示ランプ (Management LAN)
- g** 識別カード

LCD パネル (展開した状態)



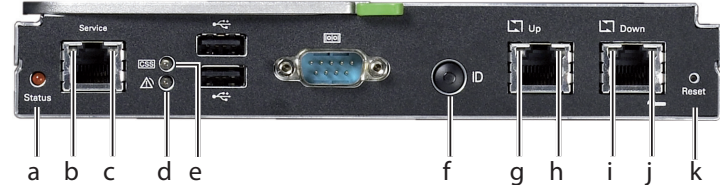
- a** CSS ランプ
- b** 保守ランプ
- c** システム識別灯ボタン
- d** メイン電源スイッチ
- e** メイン電源ランプ
- f** システム識別灯
- g** メニュー操作ボタン

⚠ 注意

LCD パネルをシステムユニットに格納する前に、LCD パネルの右側にあるボタンを押してください。

● 背面

マネジメントブレード



- a** 状態表示ランプ
- b** LAN アクセス表示ランプ (Service LAN)
- c** LAN 転送速度表示ランプ (Service LAN)
- d** 保守ランプ
- e** CSS ランプ
- f** システム識別灯ボタン/システム識別灯
- g** LAN アクセス表示ランプ (Management LAN)
- h** LAN 転送速度表示ランプ (Management LAN)
- i** LAN アクセス表示ランプ (Management LAN)
- j** LAN 転送速度表示ランプ (Management LAN)
- k** Reset スイッチ

前面	背面	ランプ名称	色	状態	意味
a	e	CSS ランプ	黄	消灯	異常はありません。
				点灯	CSS 部品の故障の予告を出力しました。
				点滅	CSS 部品の故障を出力しました。
b	d	保守ランプ	オレンジ	消灯	異常はありません。
				点灯	故障の予告を出力しました。
				点滅	故障を出力しました。
c, f	f	システム識別灯	青	消灯	システム識別中ではありません。
				点灯	システム識別中です。
d, e		電源ランプ	緑	点灯	サーバブレードの電源が入っています。
			オレンジ	点灯	サーバブレードは待機モード中です (主電源電圧は存在します)。
	a	状態表示ランプ	黄	点灯	マスターモードで動作しています。
				消灯	スリープモードで動作しています。
	b	LAN アクセス表示ランプ (Service LAN)	緑	点灯	リンクを確立中です。
				消灯	リンクが確立されていません。
				点滅	転送中です。
	c	LAN 転送速度表示ランプ (Service LAN)	緑	点灯	100Mbps でコネクションを確立中です。
				消灯	10Mbps でコネクションを確立中です。
				点滅	リンクを確立中です。
f	g, i	LAN アクセス表示ランプ (Management LAN)	緑	点灯	リンクが確立されていません。
				消灯	リンクが確立されています。
				点滅	転送中です。
				点灯	1 Gbps でコネクションを確立中です。
				点灯	100Mbps でコネクションを確立中です。
e	h, j	LAN 転送速度表示ランプ (Management LAN)	黄	点灯	1 Gbps でコネクションを確立中です。
			緑	点灯	100Mbps でコネクションを確立中です。
			—	消灯	10Mbps でコネクションを確立中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

表示ランプ (背面)

● 電源ユニットのランプ



No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	電源状態ランプ	緑	点滅	スタンバイモードで待機中です。
			点灯	正常に動作しています。
			点灯	電源ユニットに異常があります。

● ファンユニットのランプ



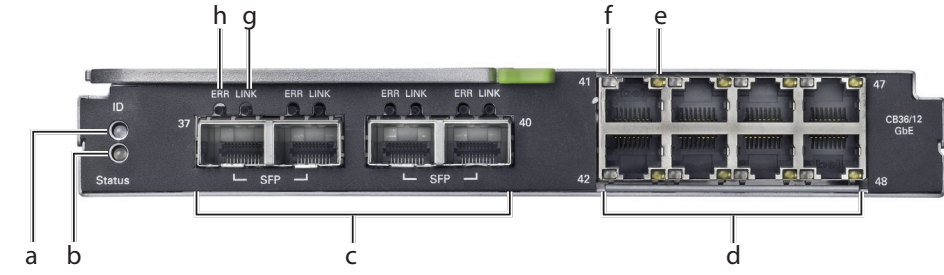
No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	電源状態ランプ	緑	点滅	スタンバイモードで待機中です。
			点灯	正常に動作しています。
			点灯	電源ユニットに異常があります。

コネクションブレードの各部名称とランプ (1)

本書に記載のないコネクションブレードについては、「オペレーティングマニュアル」または各コネクションブレードのマニュアルをご覧ください。

● スイッチブレード (1 Gbps 36/12)

i すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード (1 Gbps) を搭載してください。



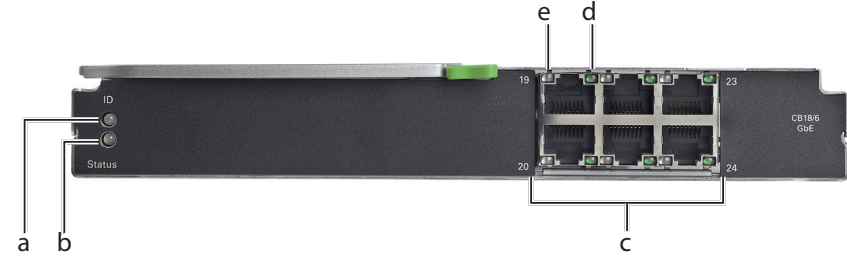
- a** 識別ランプ
- b** 状態表示ランプ
- c** SFP モジュールスロット
- d** LAN コネクタ (10/100/1000BASE-T)
- e** LAN アクセス表示ランプ
- f** LAN 転送速度表示ランプ
- g** リンクランプ (SFP モジュール)
- h** エラーランプ (SFP モジュール)

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードからスイッチブレード識別指示を受けている状態です。
			消灯	正常な状態です。
b	状態表示ランプ	緑	点灯	スイッチブレードに給電されている状態です。
		オレンジ	点灯	スイッチブレードが異常な状態です。
		—	消灯	スイッチブレードに給電されていない状態です。
e	LAN アクセス表示ランプ	緑	点滅	データの通信中です。
			消灯	リンクなし、またはポート無効化の状態です。
f	LAN 転送速度表示ランプ	オレンジ	点灯	1 Gbps でコネクション確立中です。
		緑	点灯	100Mbps でコネクション確立中です。
		—	消灯	10Mbps でコネクション確立中です。
g	リンクランプ (SFP モジュール)	緑	点灯	リンクの確立中です。
			点滅	データの通信中です。
			消灯	リンクが確立していない状態です。
			点灯	SFP モジュールが異常な状態です。
h	エラーランプ (SFP モジュール)	オレンジ	点滅	サポートしていない SFP モジュールが搭載されている状態です。
		—	消灯	正常な状態です。

コネクションブレードの各部名称とランプ (2)

● スイッチブレード (1 Gbps 18/6)

i すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード (1 Gbps) を搭載してください。



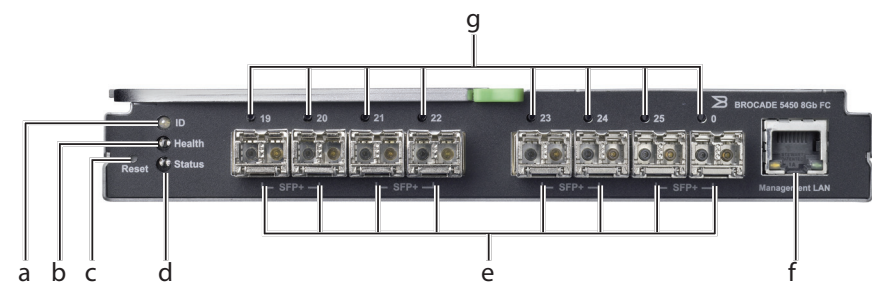
- a** 識別ランプ
- b** 状態表示ランプ
- c** LAN コネクタ (10/100/1000BASE-T)
- d** LAN アクセス表示ランプ
- e** LAN 転送速度表示ランプ

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードからスイッチブレード識別指示がされている状態です。
			消灯	正常な状態です。
b	状態表示ランプ	緑	点灯	スイッチブレードに給電されている状態です。
		オレンジ	点灯	スイッチブレードが異常である状態です。
		—	消灯	スイッチブレードに給電されていない状態です。
d	LAN アクセス表示ランプ	緑	点灯	リンクの確立中です。
			点滅	データの通信中です。
			消灯	リンクなし、またはポート無効化の状態です。
		オレンジ	点灯	1 Gbps でコネクション確立中です。
e	LAN 転送速度表示ランプ	緑	点灯	100Mbps でコネクション確立中です。
		—	消灯	10Mbps でコネクション確立中です。

コネクションブレードの各部名称とランプ (3)

● ファイバーチャネルスイッチブレード (8 Gbps 18/8)

i 本システムユニットの CB2、CB3、CB4 に搭載可能です。
また、ファイバチャネル拡張ボードを搭載したサーバブレードのみサポートします。



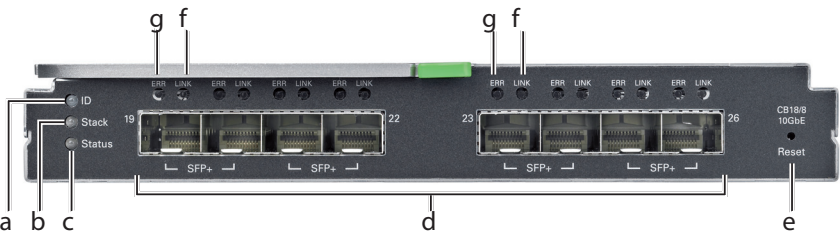
- a** 識別ランプ
- b** マネジメントブレード表示ランプ
- c** リセットスイッチ
- d** 状態表示ランプ
- e** 外部ファイバーチャネルポート
- f** LAN コネクタ
- g** 外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードからの識別指示を受けています。
b	マネジメントブレード表示ランプ	緑	点灯	マネジメントブレードから正常に認識され、動作しています。
		オレンジ	点滅	マネジメントブレードからステータス異常として認識されています。
		—	消灯	スイッチブレードの電源が OFF の状態です。
		緑	点灯	正常に動作しています。
d	状態表示ランプ	オレンジ	点灯	スイッチブレードが起動中またはオフライン状態です
			警告: エラーが発生しました	
		オレンジ/緑	点滅	i LED はテスト時に点滅することもあります。
		—	消灯	シグナルが検出されません。
			不定期間隔	ポートはオンライン状態でデータ転送中です。
		緑	点滅	- 遅い: ポートはオンライン状態のため、セグメンテーションが発生しています。
				- 速い: 内部ループバック状態です
		オレンジ	点灯	シグナルまたは光キャリアを受信しています。ただし、オフライン状態です。
			点滅	- 遅い (2 秒間隔): ポートは無効化状態です。
				- 速い (0.5 秒間隔): ポートは異常状態です。

コネクションブレードの各部名称とランプ (4)

● スイッチブレード (10 Gbps 18/8)

i すべてのコネクションブレードスロットに搭載可能です。
CB2、CB3、CB4のいずれかに搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード (10 Gbps) を搭載してください。



- a** 識別ランプ
- b** スタック表示ランプ
- c** 状態表示ランプ
- d** LAN コネクタ
- e** リセットボタン
- f** LAN 接続表示ランプ
- g** エラー表示ランプ

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードから識別指示を受けている状態です。
			消灯	正常な状態です。
		黄	点灯	スタックマスターとして動作しています。
			点滅	スタックマスターとしての動作が異常状態です。
b	スタック表示ランプ	緑	点灯	スタックスレーブとして動作しています。
			点滅	スタックスレーブとして、またはマスター選択プロセス中の動作が異常な状態です。
			消灯	スタッキングがありません。
		緑	点灯	スイッチブレードに給電されている状態です。
c	状態表示ランプ	緑/オレンジ	点滅	スイッチブレードが異常な状態です。
		—	消灯	スイッチブレードの電源が OFF の状態です。
		緑	点灯	リンクの確立中です。
			点滅	データの通信中です。
			消灯	リンクが確立していない状態です。
			点灯	SFP モジュールが異常な状態です。
g	エラー表示ランプ (SFP+ モジュール)	オレンジ	点滅	サポートしていない SFP モジュールが搭載されている状態です。
			消灯	正常な状態です。

設定

- システムユニットに必要なコンポーネントが搭載されていることを確認します。
- システムユニットの電源ケーブルを接続します。
⚠ 注意 システムユニットの電源は、電源ケーブルを接続後 1 分以上経過してから入れてください。
- システムユニットのメイン電源を入れてから、LCD パネルのメイン電源スイッチを入れます。
マネジメントブレードの基本設定ウィザードメニューが表示されます。
- 「YES」を選択して「OK」をクリックし、ウィザードを開始します。
「NO」を選択すると、基本設定ウィザードが終了し、「Health Status Overview」メニューが表示されます。

ウィザードに従って進むと、必要な設定ができます。

i 設定の詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

OSを新規にインストールする

サーバブレードに、Windows または Linux を新規にインストールする場合は、ServerView Installation Manager (SVIM) を使用します。
詳しくは、[ServerView Suite ServerView Installation Manager] をご覧ください。
なお、Linux の場合は、SVIM を使用する前にインストール DVD を作成するなど、準備が必要です。

VMware を新規にインストールする場合は、SVIM は使用しません。詳しくは、VMware の「ソフトウェア説明書」をご覧ください。

ServerView Suite の最新情報は、「PRIMERGY」ページの「ServerView Suite 情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note>) にて提供しております。必ずご覧ください。

□ Windows の新規インストール

SVIM でインストールを行います。

□ Linux の新規インストール

1 インストール DVD を作成します。

インストール DVD は、RH-N (Red Hat Network) からダウンロードして作成します。

詳しくは、「Red Hat Network. サブスクリプションの登録方法」(<http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html>) をご覧ください。

- RH-N にログインします。
- ISO イメージの公開ホームページを開きます。
インストールするディストリビューションを選択してください。
- Binary Disc の ISO イメージをダウンロードします。
RH-N の画面に、MD5 チェックサムが表示されています。
ダウンロードした ISO イメージのチェックサムが正しいか確認してください。
- ISO イメージから、インストール DVD を作成します。

2 富士通 Linux サポートパッケージ (FJ-LSP) を準備します。

FJ-LSP は、サポート契約されたお客様のみ対象となります。

FJ-LSP は、富士通の SupportDesk 契約者様向けサイト (SupportDesk Web :

<http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/>) からダウンロードしてください。

3 SVIM でインストールを行います。

SVIM のアプリケーションウィザードで FJ-LSP を適用してください。

□ VMware の新規インストール

インストールメディアは、ヴァイエムウェア株式会社のサイト (<http://www.vmware.com/jp/>) よりダウンロードしてください。

i ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。詳しくは、「お客様登録とライセンス取得のご案内」* をご覧ください。また、製品をご使用になる前に SupportDesk への登録をお願いします。
※ VMware/ ンドタイプをご購入のお客様は、同梱されています。それ以外のお客様は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

VMware のインストール方法、および使用時に留意すべき事項については、VMware の「ソフトウェア説明書」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>) をご覧ください。